

3月定例会を 振り返って

会派の意見

新こうち未来

代表質問に氏原嗣志議員、
個人質問は、会派所属の全ての
議員が登壇！

氏原嗣志議員が、わが会派の
目指す本市の将来像を踏まえ代
表質問を行った。行財政改革や
防災対策、農林水産振興、中山
間振興など幅広く問題点を指摘
中でも、平成24年度予算の表に
出てこない学校建設公社債務、
収益事業特別会計、国民宿舎特
別会計の繰り上げ充用への留意
を提言。新庁舎建設については、
議会に対して報告のないまま、
あたかも建設が決定したかのよ
うな執行部の姿勢を批判。また、
職員の定員適正化では、これま
での職員数2700人という目
標がありながら、突然の286
0人への増員という、極めて危
機感のない条例議案について、
矛盾を厳しく追及した。その他、
観光振興では龍馬脱藩150年
に当たり、龍馬暗殺までの5年

間を今後の本市観光のメーnte
ーマに掲げるよう強く要望した。
個人質問は、戸田二郎議員、
福島明議員、川村貞夫議員、上
田貢太郎議員、土居ひさし議員、
浜口卓也議員が、代表質問での
会派の考えを広げる形で質問を
行った。

新風クラブ

財政再建の正念場、
平成24年度予算案をただす！

会派代表質問には水口晴雄議
員が登壇。南海地震対策、公共
事業の地元優先発注、職員定数
条例、教育委員会組織の再編成
新図書館複合施設整備、新エネ
ルギービジョン、生活保護の不
正受給など、市政運営に関して
幅広く質問。執行部からは、公
共工事発注時の企業評価基準を
一部変更し、社会的貢献度の配
点を増やす方針が示され、医療
センターと県立病院との統合は
想定していないこと、消防署所
の再編成にスピード感を持つて
取り組むことなどの答弁を得た。
個人質問に登壇の平田文彦議
員は、南海地震対策について、
浦戸湾口防潮堤の整備状況をた
だすとともに津波避難タワーの
早期設置を求めた。また、学校
と地域の連携拡大、学校の安全
対策向上のための録画機能付き
監視カメラ設置を強く要望した。
次いで登壇した清水おさむ議
員は、新たに地域主権戦略会議
のメンバーになった市長の基本

姿勢や、総合計画と平成24年度
予算との整合性、高知商業高校
への市内中学生の入学枠設置な
どについてたどした。

市民クラブ

新庁舎は現在地に
地上5階建て免震構造

代表質問の田鍋剛議員に対し、
執行部は新庁舎の建設地は現在
地、地上5階建ての免震構造、
子どもや高齢者の窓口はワンス
トップ対応、仮庁舎は市役所前
の旧JA高知ビルを考えている
と答弁。生活排水対策の推進に
ついては、住宅新築時には合併
浄化槽設置の法的義務があるた
め、単独浄化槽やくみ取りから
の合併浄化槽への転換について
市独自の支援策も考えていくと
表明。地域コミュニティ再構築
については、地域内連絡協議会
の設立に取り組むと答弁。
個人質問の長尾和明議員に対
し、執行部は生活保護率が37%
に達し、中でも就労可能な方を
含むその他世帯が3年間で倍増
全体の2割になっている状況の
打開に向け、職業訓練と雇用保
険の充実を挙げた。南海地震対
応については、年度途中であつ
ても補正予算で対応すると答弁。
門田権四郎議員の質問に、教
育のプロ集団としての学校組織
の力量向上、保護者等の支援的
教育力の向上により、小学校は
全国トップクラス、中学校は全
国平均を目標に取り組みと答弁。

日本共産党

新年度予算には経済対策や
子育て支援拡充を求め
修正案を提出

6名全員が質問、討論に立ち、
代表質問では社会保障と税の一
体改革やTPP、原発、地域主
権改革に対し、国に追従する市
長の政治姿勢をただす。住宅リ
フォーム助成制度創設での仕事
づくりや小規模校への放課後児
童クラブ設置を求める請願、陳
情は採択。今後は市長の決断に
かかる。児童福祉施設最低基準
の条例制定議案では、保育水準
を後退させると指摘し修正案を
提出。新庁舎建設では、専門家
の意見も聞かず進めている点を
指摘。中学校給食の拡大では、
執行部は耐震化優先や財政難の
ため実施できないとしたが、昼
食の実態アンケートは行うと答
弁。貧困などによる孤立死をな
くすために、生活保護制度のパ
ンフレットを公共施設で配布す
ると答弁。子どもの医療費無料
化拡大や医療費の窓口負担軽減
を求め、介護保険料では基金活
用による値上げ抑制を求めた。
公明党
学校の避難所機能強化と
女性の視点や避難弱者の目線で
新たな防災対策を求める
公明党は、平成24年度の当初
予算を踏まえ、地域、市民生活
を守る立場から、質問戦に臨み

ました。

山根堂宏議員は代表質問にお
いて、岡崎市政三期目の初年度
となる平成24年度当初予算編成
を基に、市長の政治姿勢、定員
適正化と機構改革、防災関連対
策、上下水道の両事業統合など
について質問しました。

寺内憲資議員は観光振興の観
点から、桂浜公園の空き店舗の
改善策を求め、市長は、関係者
との協議の場として、外部の専
門アドバイザーを入れた会をつ
くり、経営や活性化の助言を得
ていくとの考えを示しました。

西森美和議員は市防災会議に
女性の視点と障がい者の声を反
映する委員の選任を訴え、前向
きな答弁を得るとともに、会議
に提案する検討課題を専門的か
つ集中的に議論するための委員
会の設置を強く求めました。

みどりの会

近森議員は市の商工観光、農
林水産政策の無策を委員会では
指摘。先進地事例や具体的な手法
を指示。市政の積極的な地産外
商への取り組みと地元商売人や
業者を優先するよう要請しまし
た。近森議員は市民が心から笑
って暮らせる高知市を創ります。

